

9月9日：大型株の下落がVN指数を押し下げる

VN指数は0.09%安の889.32ポイントで水曜日の取引を終えた。大型株が下落し相場を押し下げた。

指数は午前中に取引が始まった直後に安値の883ポイントを付けた。その後、引けにかけて買い需要が高まったことで指数はほぼ前日と変わらずと水準で取引を終えることとなった。

ホーチミン取引所のVN指数ベースで185銘柄が下落し202銘柄が上昇した。売買代金は6兆ドンで、先月平均の5兆ドンより多かった。

VN30指数は0.38%安、20銘柄が下落し8銘柄のみが上昇した。

民間銀行が値下がりをした。エクシムバンク (EIB)、テクコムバンク (TCB) は1.8%、1.4%安となった。HDバンク (HDB) とVPバンク (VPB) もそれぞれ1%、0.2%安となった。

ベティンバンク (CTG) は1%安、ベトコムバンク (VCB) は0.4%安、BIDV銀行 (BID) も0.1%安となった。

サコムバンク (STB) が唯一の上昇を見せ、0.4%高を記録した。

石油ガスセクターも安い。ペトロリメックス (PLX) は0.6%安、ペトロベトナムパワー (POW) は0.5%、ペトロベトナムガス (GAS) は0.4%安となった。

その他下落したのは、FLCファロス建設 (ROS)、ホアンファイ投資 (TCH)、カンディエンハウス (KDH) などであった。

ビンググループ (VIC) は変わらず、ビンホームズ (VHM) は0.1%高、ビンコムリテール (VRE) は0.4%高となった。

リー冷蔵電気工業 (REE) は1.2%高とVN30指数で最も上昇した。

マッサングループ (MSN) は0.4%高、SSI証券 (SSI) とモバイルワールドインベストメント (MWG) はどちらも0.3%高となった。

一方、ハノイ取引所の HNX 指数は 0.9% 高、UPCoM 指数も 0.03% 高となった。

外国人投資家は 1720 億ドンの売り越し、HPG、VNM などに売りが集まった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。